NIE実践報告

1．タイトル：見やすく整理しよう ―新聞の天気予報を生かした表つくりと棒グラフの学習―

2．学校名

神奈川県茅ヶ崎市立円蔵小学校

3．実践者名（代表者名）

岩瀬　正幸

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

算数　29人

6．単元（本時の学習課題）名

見やすく整理しよう

7．目標(狙い)

資料を分類整理して表や棒グラフに表したり、それらを読んだりする能力を身につける。

8．評価の視点

①資料を分類整理する要領や結果の表への表し方
②数量が横軸に表されている棒グラフを読むこと　③資料（新聞）を利用してグラフを書くこと

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

見やすく整理しよう―新聞の天気予報を生かした
表つくりと棒グラフの学習―（ハンズオン・マスの考え方を使って）　10時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

※この活動はハンズオン・マスの考え方で学習するものであり、こども達は楽しんで学習をしていく。この時に、「同じ絵がつながっていたらつないで貼るといい」と考えて作業をするこどもがでてきた。長いものの場合は、マスの線とずれるから3個か4個にするといいと声が上がってもいた。
※この絵グラフのよさは、絵グラフの示すぼうの大きさがそのままぼうグラフの大きさになる。というところがこの教材を使った一番の中心点である。こどもは資料を整理した表の数字が急に棒に変化したことをすぐに理解できるこどもも多い。けれども、そこのところでつまずくこどもがいることも事実である。だから、このような指導は有効であることを提案したい。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・ぼうグラフと絵グラフの二つが分かりました。ぼうグラフはニュースとかでよくでます。学校の算数の中で一番おもしろかったです。
・グラフで天気を表せるなんてしりませんでした。そのグラフで表すのが楽しいです。またやりたいです。

12．成果と課題

※このように新聞の天気予報欄を使って、ぼうグラフと表の指導をすることが出来る。こども達はこの単元で学んで欲しい力を全員が理解できた。楽しく学んでいける教材になった。そして、広がりのある授業になっていった。